



【戸建】

## リモデル現場調査マニュアル



# リモデルでは、確実に現場調査を行うことが お客様満足の上につながります！

本冊子は、現場調査訪問を実施している方を対象と  
しています。

見積書を作成するために必要なユニットバスの品番は、  
現場調査を実施することで正確に作成することができます。  
まずは品番に関わる情報を確実に調査し、  
その後、沢山ある調査項目を一つ一つ確認しましょう。

## INDEX

### 【工事工程とユニットバスの品番】

- |                           |    |   |
|---------------------------|----|---|
| 1. 正確に現場調査を行うと仕事がスムーズ！    | P. | 3 |
| 2. 時間が無い時でもここだけは確実に調査     | P. | 4 |
| 3. ユニットバスのサイズ・ドア位置・架台について | P. | 5 |

### 【現場調査方法】

- |                    |    |    |
|--------------------|----|----|
| 1. 《サイズ》 平面の採寸     | P. | 6  |
| 2. 《サイズ》 立面の採寸     | P. | 7  |
| 3. 《架台》 床下の採寸      | P. | 8  |
| 4. 《ドア位置》 ドアまわりの採寸 | P. | 9  |
| 5. 《窓部品》 窓まわりの採寸   | P. | 10 |

### 【仕様変更・追加注文の部品】

- |                   |    |    |
|-------------------|----|----|
| 1. 仕様変更・追加注文の多い部品 | P. | 13 |
|-------------------|----|----|

### 【単品 品番一覧】

- |                |    |    |
|----------------|----|----|
| 1. 良く出る架台の品番一覧 | P. | 15 |
|----------------|----|----|

# 正確に現場調査を行うと仕事がスムーズ！



リモデル工事では後工程のことを考えよう。

## 一般的な浴室リモデル工事工程

1. 引き合い
2. **現場調査（解体前）**
3. 見積書作成（仕様決め）
4. 契約（工事日決定）
5. 注文
6. 浴室工事スタート（解体）
7. **現場調査（解体後）**
8. 設備配管／土間コン
9. ユニットバス組立
10. 引渡し（取り扱い説明）



採寸はもれなく  
正確に！



正確な注文は、仕事を  
スムーズする！  
だから、解体前の現場  
調査はとても重要です。



**解体前の現場調査情報で  
正確に注文すれば、解体後の調査  
後に仕様変更することもないよね～**

納品直前の変更にはこんなことが…

- ◇メーカーへ仕様変更手配
- ◇納期に合せた工事日の延長・延期
- ◇工事日程の作り直し
- ◇お客様からの信用不振

## 教訓

ご契約通りの日程でスムーズに完了する事は信用への第一歩。

時間が無い時でもここだけは確実に調査しよう！



TOTOのユニットバス品番は、**シリーズ・サイズ・タイプ・ドア位置・架台** 5つの情報で出来ている！

現場調査時、「**サイズ**」「**ドア位置**」「**架台**」3つの情報を確認すれば本体品番がわかります。 ※本体品番例下記

## TOTO ユニットバス品番構成

### 【本体品番例】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
※	※	V	1	6	1	6	U	S	X	※	A	F
【①シリーズ】			【②サイズ】			【③タイプ】			【④ドア位置】 【⑤架台】			

品番に関わる3つの情報 ※色塗り部

<情報入手箇所>

【①シリーズ】→ シンラ/サザナ

カタログ記載

【②サイズ】→ 浴室内の幅と奥行

現場調査

【③タイプ】→ シンラ/サザナのラインナップ

カタログ記載

【④ドア位置】→ 浴槽の配置とドアの位置

現場調査

【⑤架台】→ ユニットバスを床下で支える部材

現場調査

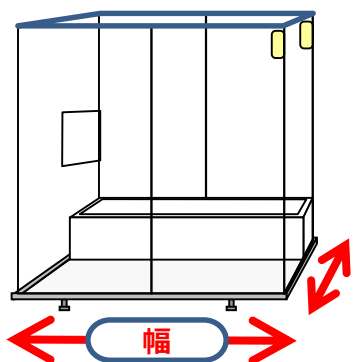
## 教訓

正確な品番をつくるには現場のU B【サイズ】【ドア位置】【架台】の3つの情報を確実に調査しよう。

# ユニットバスのサイズ・ドア位置・架台について

## ユニットバスの「サイズ」

※本体品番 4桁目～7桁目



本体品番では、ユニットバスのサイズを幅2桁、奥行2桁の数字で表示している。

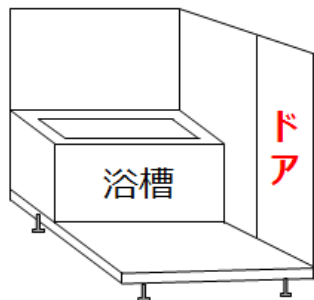
【例】

◆幅 1200mm + 奥行 1600mm = 1216

◆幅 1600mm + 奥行 1600mm = 1616

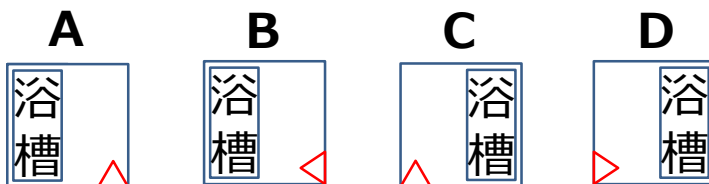
## ユニットバスの「ドア位置」

※本体品番 12桁目



※図1

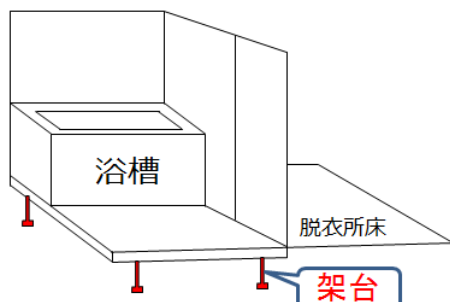
本体品番では、浴槽と入口の配置によりA/B/C/D 4つの英字で表示している。



※ちなみに図1はドア位置「C」

## ユニットバスの「架台」

※本体品番 13桁目



脱衣所の床高さに合う架台を注文します。

本体品番では、「架台」と呼ばれる浴室を支える脚のサイズを F/S/R/H 4つの英字で表示している。

床下据え付け高さ	F		S	R	H	
	H197	CTA06	CTA08	H350	H450	H550
調整範囲	197~220	227~250	250~300	300~400	400~530	500~600
600						
500						
400						
300						
200						
H600						
H197						

# 平面の採寸

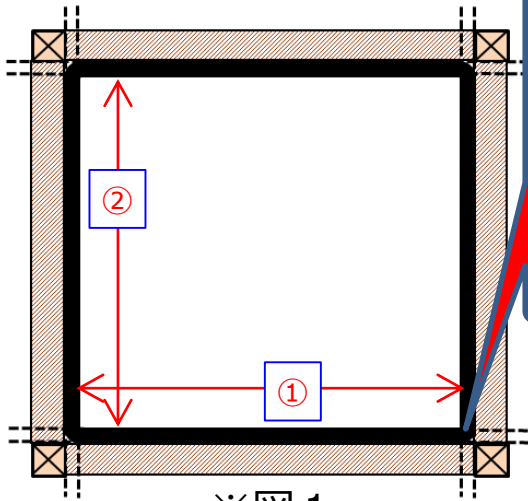
サイズを決定するために浴室内を採寸

<採寸箇所> ※図1

① 幅 ② 奥行

※壁の厚みは採寸出来ないので**推測する**。

壁の厚みは推測



※図1

<壁厚の推測寸法>

木下地 = 約30ミリ コンクリート・ブロック下地 = 約20ミリ



このように採寸しよう

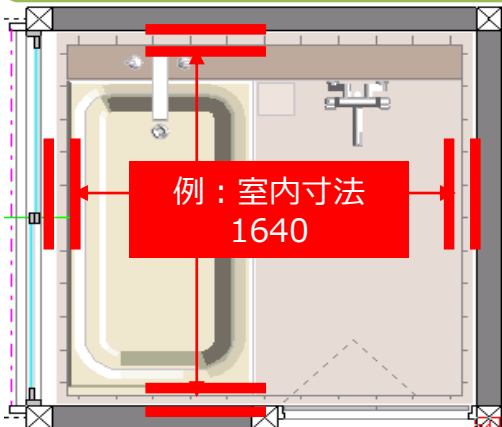


- ◇ タイル壁の内側寸法はタイル壁の目地などを利用して平行に採寸する。
- ◇ 木下地は室内4方向のそれぞれが異なる場合があるので下地の判断は、壁4方向を行う。

【ワンポイントアドバイス】

平面スペースの寸法をキッチリ採寸しておかないと注文したUBサイズの仕様変更につながり、変更作業の手間が発生します。

壁下地の違いによる浴室設置有効寸法の求め方



【木下地の計算「例」】

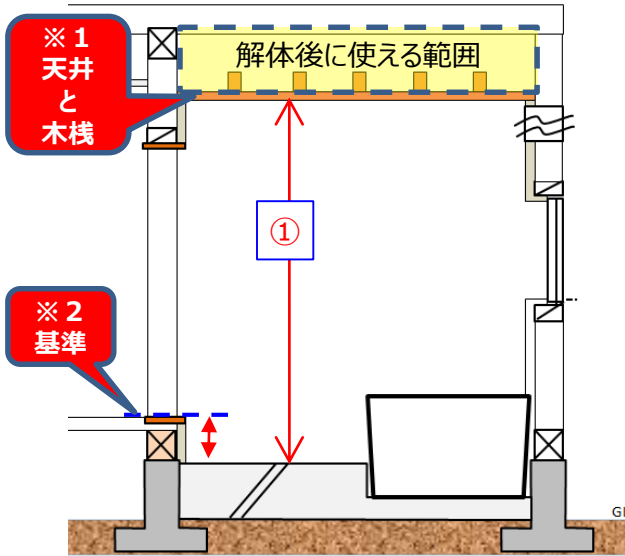
	〈室内寸法〉	〈壁厚〉		〈設置有効寸法〉
短辺	1640	(30+30)	=	1700
長辺	1640	(30+30)	=	1700

【コンクリートブロック下地の計算「例」】

	〈室内寸法〉	〈壁厚〉		〈設置有効寸法〉
短辺	1640	(20+20)	=	1680
長辺	1640	(20+20)	=	1680

# 立面の採寸

## ユニットバスの天井納まりを判断するために採寸



※図 2

<採寸箇所> ※図 2

### ① 浴室床面～浴室天井

※ 1 左図天井と木棧は解体後には無くなる部分なので約50ミリは**設置有効寸法**となる。

《上記、設置有効寸法の計算例》

(浴室床面～浴室天井) + 50ミリ - 入口段差

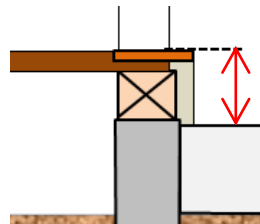
※ 2 左図洗面所床仕上げ面を基準にU Bの納まりを検討する。

※ 先ずは、計算した寸法を目安にU Bの納まりを判断し「納まらない」場合は天井裏の寸法を確認する。

## このように採寸しよう



◇ タイル壁の目地を活用し、メジャーの帯を垂直に保ち採寸する。



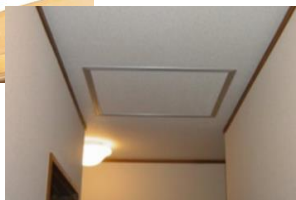
◇ 出入口に敷居などがある場合、その凸寸法を差し引く。  
※洗面所床仕上げ面を基準に採寸

## 天井裏を採寸するには



天袋点検口

天井点検口



◇ 天井裏を採寸する場合には、和室の押入れ上にある天袋点検口や天井点検口から採寸できる場合がある。

### 【ワンポイントアドバイス】

立面方向の設置有効寸法をキッチリ採寸しておかないとU Bの天井裏にある換気扇までが納まらず、仕様変更につながります。

# 床下の採寸

F/S/R/H どの架台を選択するか判断するために採寸

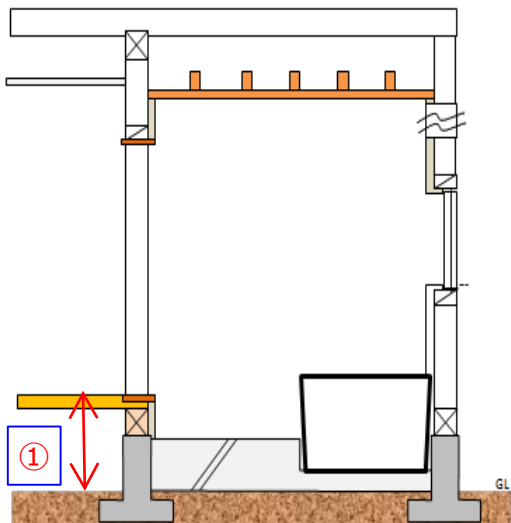
<採寸箇所> ※図3

① 床F洗面所L ~ GL (地盤面)

※洗面所や台所の床下点検口より採寸。

※①の寸法が採寸できない場合、在来浴室の床解体し後の土間コンクリートを打設仕上げ面をUBの架台で対応できる範囲で仕上げる用にしましょう。

**【ワンポイントアドバイス】**  
 ①の洗面所床下寸法が500ミリくらいだったら「R架台」がおすすめ。  
 ※UB据付高さ調整範囲が400ミリ~530ミリと広範囲。



※図3

床下収納庫が無い場合はこのように採寸しよう



玄関から洗面所までの段差寸法を活用

あ + い + う



浴室や洗面所の窓を活用

a - b - c + d

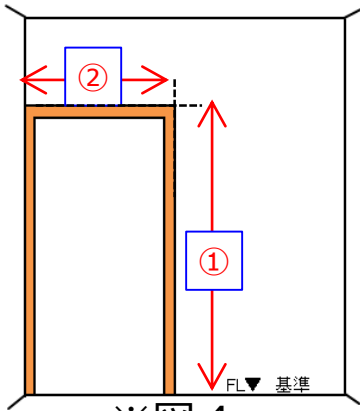


おおよその床下寸法を知ることが出来ます。



# ドアまわりの採寸

ドアの納まりを判断するために採寸



※図 4

<採寸箇所> ※図 4

- ① 洗面所床表面 ~ ドア額縁の上端
- ② 壁コーナー ~ ドア額縁の横端

《注意》

ドア額縁に下枠がある場合は、撤去すると脱衣所床材が無くなるので洗面所床仕上げ材の貼り替えを提案すること。

このように採寸しよう



◇ドア額縁の外側

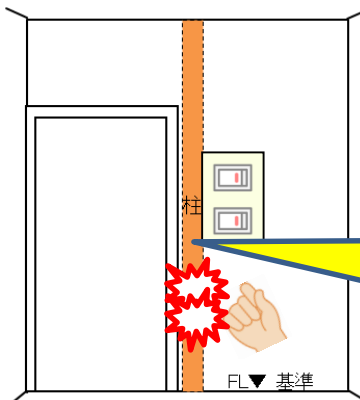


◇ドア額縁の上側



間仕切り壁内の柱について

◇浴室の間仕切り壁中央の柱の有無を調査することで、選択したドアの納まりが判断できます。



約 100  
ミリ

ノックして「つまった」音がする場合は、柱の可能性大

<通し柱や管柱があった場合>

撤去できない柱なので開口の広いドアは選べない。

<間柱があった場合>

撤去できる柱なので間口の広いドアを選べる。

<見分ける方法の一例>

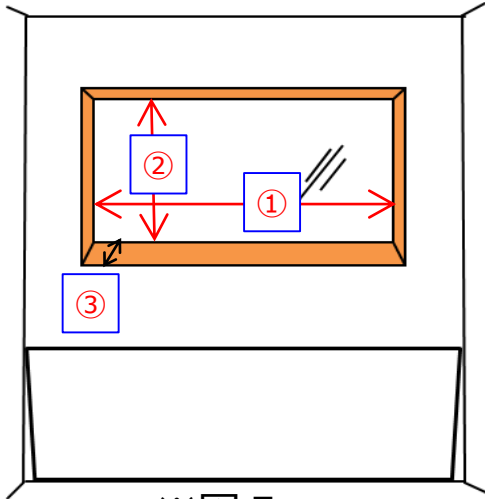
ドア額縁横の柱から100ミリくらい離れたところにスイッチが設置されていると、柱がある場合が多い。

【ワンポイントアドバイス】

柱の有無をキッチリおさえておかないと間口の広いドアから狭いドアへの仕様変更につながります。

# 窓まわりの採寸

フリーサイズ窓枠の幅/高さ/奥行のサイズを選定するために採寸



※図5

<採寸箇所> ※図5

- ① 幅 = 窓サッシの端 ~ 端
- ② 高さ = 窓サッシの下端 ~ 上端
- ③ 奥行 = 窓周囲壁 ~ 窓サッシ

【ワンポイントアドバイス】

窓サイズをキッチリおさえておかないと注文した窓枠サイズでは不足し、仕様変更の注文につながります。

このように採寸しよう



◇タイルまでの寸法ではなく、窓サッシまでの寸法を採寸。

フリーサイズ窓枠の奥行サイズを決定するための考え方！

【ワンポイントアドバイス】

選定したフリーサイズ窓枠の奥行が不足しない様に、ユニットバスを設置した際に出来るクリアランスの寸法を含めて、おおよその奥行サイズを選定する。

※ユニットバス壁裏クリアランス寸法を約50ミリと仮定

<採寸した寸法結果>

- ◇ 80ミリ~150ミリ程度の場合 奥行200ミリサイズ
- ◇ 160ミリ~250ミリ程度の場合 奥行300ミリサイズ
- ◇ 250ミリ~400ミリ程度の場合 奥行450ミリサイズ

<選択するサイズ>

ユニットバスの  
壁裏クリアランス

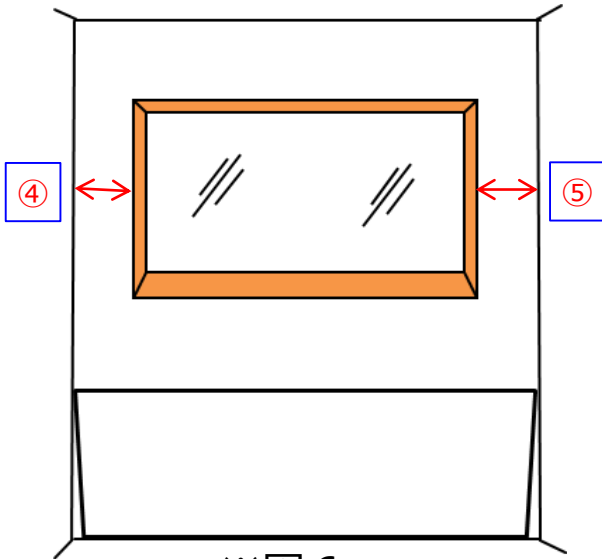
クリアランスを  
含めた寸法で窓  
枠の奥行を判断

【ワンポイントアドバイス】

窓枠サイズが不安だったら・・・ 必要に応じ幅/高さ・奥行をワンサイズ大きい物を手配すると安心。

# 窓まわりの採寸

既設窓アタッチメントの要否を選定するために採寸



※図6

<採寸箇所> ※図6

④ 壁左コーナー ~ 窓サッシ (アングルピース)

⑤ 壁右コーナー ~ 窓サッシ (アングルピース)

【既設窓アタッチメントとは?】

コーナーからコーナーまでである大きな窓や、小さくても目一杯コーナーに寄っている窓は、ユニットバスからはみ出すため既設窓アタッチメントが必要。

【ワンポイントアドバイス】

既存窓がシステムバスからはみ出すかどうか、おさえておかないとアタッチメント付へ仕様変更につながります。

既設窓アタッチメントの要否が簡単にわかる現場の一例



<既設窓アタッチメントが**不要**と思われるケース>

窓の両脇の壁が100ミリ以上の場合  
(不明確ならアタッチメント付き手配)

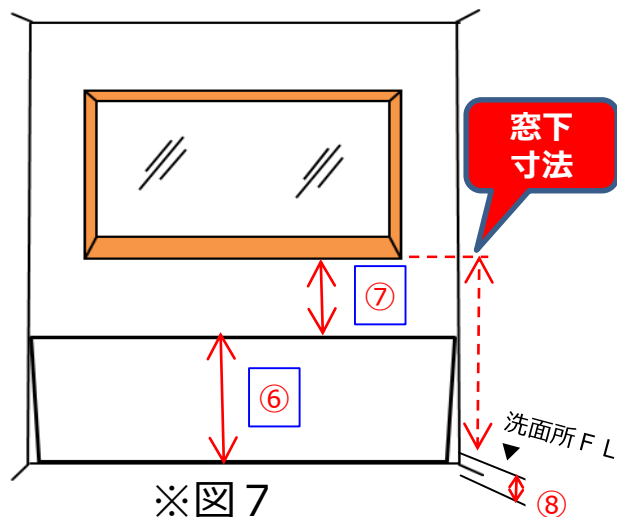


<既設窓アタッチメントが**必要**と思われるケース>

既存窓の両脇の壁が100ミリ未満の場合

# 窓まわりの採寸

浴槽と窓の干渉「有・無」を判断するために採寸



<採寸箇所> ※図7

⑥ 浴室床面 ~ 浴槽フチ

⑦ 浴槽フチ ~ 窓下

⑧ 入口段差

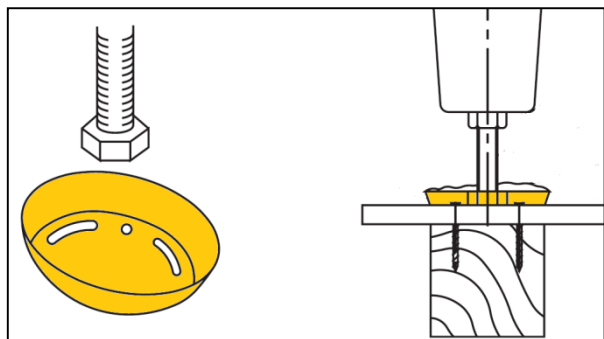
⇒  $⑥ + ⑦ - ⑧ = \text{洗面所FL} \sim \text{窓下寸法}$

## 【ワンポイントアドバイス】

窓下を採寸することで、「窓と浴槽との干渉」や「浴槽横インテリアバーの設置スペース有無」の判断ができます。

# 仕様変更・追加注文の多い部品

## 床固定金物



### <木造建築階上設置の場合>

システムバスを階上に設置する場合など、  
架台のボルトめり込み防止のために「床固定金物」  
を使用してください。

セレクト記号

床固定金物： VTC01

床固定金物の品番： EKC026

接着剤ルビロンの品番： EKC901N5

## 高さ調整ボルト Fフラット床用オプション

	F		S	R	H
床下据え付け高さ	H197	CTA06 CTA08 オプション	H350	H450	H550
調整範囲	197~220	227~250 250~300	300~400	400~530	500~600
600					
500					
400					
300					
200					

H300ミリ  
~  
H227ミリ

### <UB据付面～洗面所FLの寸法が 227ミリ～300ミリの場合>

F架台H197ミリやS架台H350でも対応できない  
場合にオプションの「高さ調整ボルトを使用してください。

F 架台専用セレクト記号

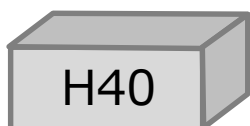
調整範囲H227～250ミリ： CTA06

調整範囲H250～300ミリ： CTA08

## コンクリートブロック

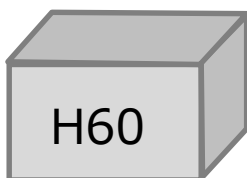
### <UB全体の嵩上が必要な場合>

コンクリートブロックは、最大2段まで重ねる事が可能。  
コンクリートブロックどうしもルビロン（EKC901N\*）でしっかり固定



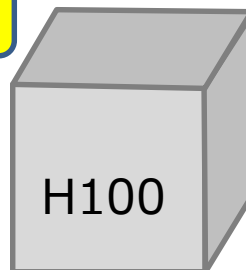
サイズ W100×D100×H40

品番 EKC21002



サイズ W100×D100×H60

品番 EKC00001

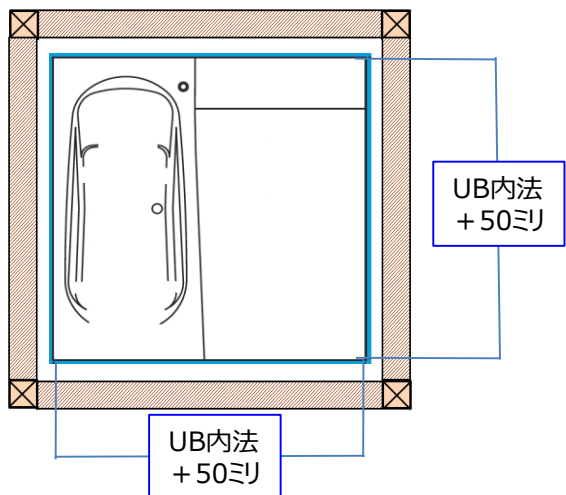


サイズ W100×D100×H100

品番 EKC00002

# 仕様変更・追加注文の多い部品

## スリム構造



### <リモデル現場の設置スペースが狭い場合>

狭小地や高基礎などの建築によりタイル壁を解体撤去しても浴室スペースが狭い現場などで使用。

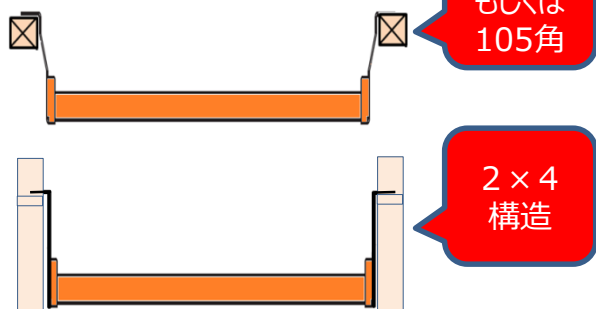
### <スリム構造の場合に必要なスペース>

1624サイズ設置する場合	<u>1650ミリ×2450ミリ</u>
1620サイズ設置する場合	<u>1650ミリ×2050ミリ</u>
1616サイズ設置する場合	<u>1650ミリ×1650ミリ</u>

セレクト記号

スリム構造 : EUA01

## 吊架台



### <木造建築で階上設置の場合>

お客様宅の建築状況に合わせて吊架台を選択。

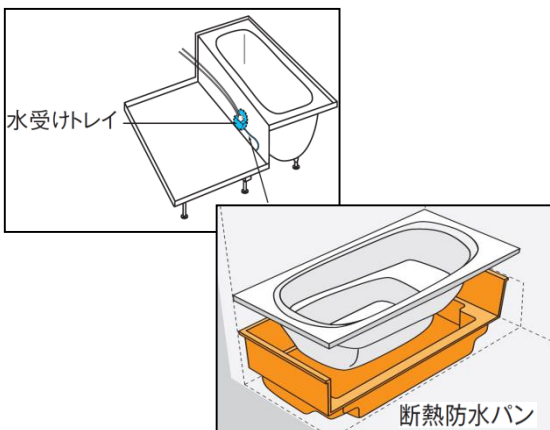
セレクト記号

土台/梁 120角対応 : CGA06

土台/梁 105角対応 : CGA16

2×4 構造 : CGA10

## 水受トレイと断熱防水パン



### <2階以上の階上へ設置する場合>

万一の水漏れ時に家屋への損害を最小限に抑えるために使用。

セレクト記号

水受けトレイ : YJA01

断熱防水パン : CXA01

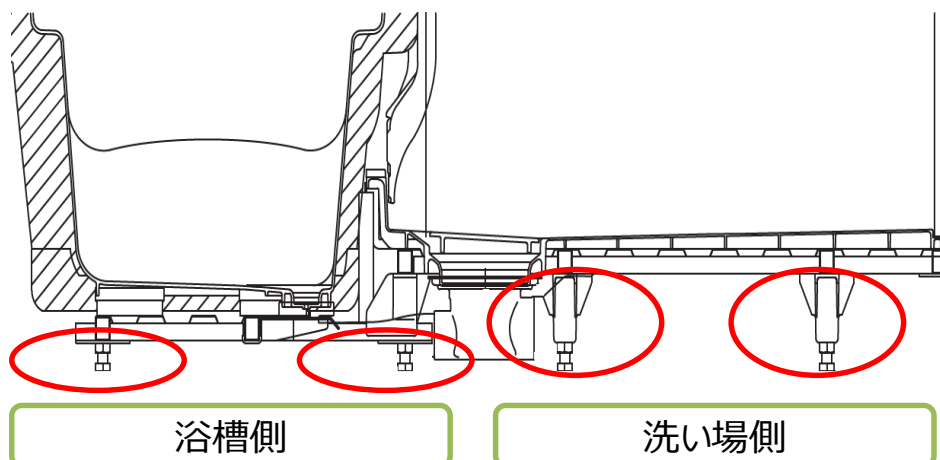
# 良く出る架台の品番一覧

## 現場調整用 架台（支持脚セット）

架台高さ	サイズ	品番
[F] フラット床 (H197mm $\pm$ 3mm) 用	1717/1616/1317/1216/1116	ZPUBC160
	1220/1618/1818/1620	ZPUBC166
	1624	ZPUBC172
[F] フラット床 (H227mm) 用 [[F] フラット床 (H197mm $\pm$ 3mm) +セレクトCTA06選択時用]	1717/1616/1317/1216/1116	ZPUBC161
	1220/1618/1818/1620	ZPUBC167
	1624	ZPUBC173
[F] フラット床 (H250mm) 用 [[F] フラット床 (H197mm $\pm$ 3mm) +セレクトCTA08選択時用]	1717/1616/1317/1216/1116	ZPUBC162
	1618/1818/1620	ZPUBC168
	1624	ZPUBC174
	1220	ZPUBC178
[S] フラット床 (H350mm) 用	1717/1616/1317/1216/1116	ZPUBC163
	1618/1818/1620	ZPUBC169
	1624	ZPUBC175
	1220	ZPUBC179
[R] フラット床 (H450mm) 用	1717/1616/1317/1216/1116	ZPUBC182
	1618/1818/1620	ZPUBC183
	1624	ZPUBC184
	1220	ZPUBC185
[H] フラット床 (H550mm) 用	1717/1616/1317/1216/1116	ZPUBC165
	1618/1818/1620	ZPUBC171
	1624	ZPUBC177
	1220	ZPUBC181

## 例：＜ZPUBC160の支持脚セット内容＞

1室に必要な 脚環（洗い場側） 脚環（浴槽側） 脚用ネジ 六角ボルトM16X150 がセット



**TOTO**

2022.03改訂版